

山車まつりの文化財指定について

1 概要

東海市には「大田まつり」と「尾張横須賀まつり」の2つの山車まつりが継承されており、それぞれに特色を有した山車行事を行っている。

東海市教育委員会は令和3年(2021年)5月26日付けで「大田まつりの山車行事」及び「尾張横須賀まつりの山車行事」をそれぞれ市無形民俗文化財に新規指定した。指定後の東海市内の指定文化財は、国3件、県2件、市72件となった。

2 「大田まつりの山車行事」について

(1) 概要

ア 指定名称	大田まつりの山車行事
イ 種 別	無形民俗文化財
ウ 所 在 地	東海市大田町地内
エ 管 理 者	大田まつり保存会
オ 祭 礼 日	10月第1日曜日とその前日
カ そ の 他	大田町の旧大里村地区の氏神である大宮神社の祭礼において、4輦の山車が運行される祭礼行事である。その起源は、農村部の経済的発展を背景として山車が祭礼に取り入れられた江戸時代後期の文化年間頃に求めることができる。

(2) 特色

大田まつりは、農耕と結びついた天王信仰(津島信仰)と山車行事とが密接に結びついている。これは農村部であった大田町(旧大里村地区)特有のものであり、大田まつりの最大の特色であると言える。また、地域の特性に合わせつつ、まつりの主体は近世以来の若衆制度を基とした若い者が中心となっており、村落共同体としての社会構造が良く残されている。

3 「尾張横須賀まつりの山車行事」について

(1) 概要

ア 名称	尾張横須賀まつりの山車行事
イ 種別	無形民俗文化財
ウ 所在地	東海市横須賀町地内
エ 管理者	横須賀祭り保存会
オ 祭礼日	9月第4日曜日とその前日
カ その他	横須賀地区の氏神である愛宕神社の祭礼において5輛の山車が運行される祭礼行事である(内2輛は隔年運行)。その起源は、横須賀地区が知多半島西岸一帯の行政・商業の中心地となり、町方として繁栄したことを背景に山車が祭礼に取り入れられた江戸時代後期寛政年間頃に求めることができる。

(2) 特色

横須賀地区は近世初頭に横須賀御殿が設置されたことに伴い、町割が整備された。これを契機とし町方として発展し、山車まつりを行うようになった。このことから尾張横須賀まつりは町方の成立・発展と共に成立したまつりであり、周辺地域には見られない最大の特色である。また山車行事では山車の楫棒に触れることのできる人数を制限する独特な楫取制度の下、道幅の狭い街並みの中運行される山車の曳き回しをまつりの見どころとして魅力を高めてきたことも大きな特色であると言える。

4 文化財指定

上記の特色からそれぞれの山車行事の文化財的価値は高く、文化財として保護する必要があるため、東海市文化財調査委員からの答申（令和3年（2021年）5月18日付け）を受けて、東海市教育委員会は東海市文化財の新指定を行った。



大田まつりの様子



大田まつりの様子



尾張横須賀まつりの様子



尾張横須賀まつりの様子